

# 第 3 回 新花巻図書館整備基本計画（試案） 検討会議

---

事務局資料

令和 3 年 6 月 2 8 日  
花巻市 生涯学習部  
新花巻図書館計画室

新花巻図書館サービスの基本に基づき、提供するサービスは以下のとおりである。

## 7.新たなシステムへの対応

- 利用者の利便性を高めるために、ホームページから図書の検索や予約等が利用できる図書館情報システムの充実を図る。
- 貸出の自動化や予約図書の自動貸出など新しい技術を導入する。
- 館内のどこでも大人数で使用しても支障がないようなWi-Fi環境を整備する。
- 閲覧室にはコンセントやインターネット接続可能な場所を設ける。
- インターネットや各種データベースなどを閲覧利用できる環境を整備する。
- 貴重な地域資料や、古文書、古地図などのデジタル化による保存活用を図る。
- 図書館システムや新しい技術を導入する際は、将来的な変化や進展に柔軟に対応できるものとする。

## 8.利用者の視点

- 市民ニーズを把握するため、市民の意見を聞く機会を設け、利用者の視点に立った運営に努める。
- 利用者ニーズを把握するため、毎年利用者アンケート調査を行い、よりよい運営に努める。
- 利用者が図書館運営に参加できるように、利用者が希望する図書の収集（リクエストサービス）や、利用者が選書した本を紹介するなど、利用者の視点に立った運営に努める。
- 市民とともに歩み、市民が生涯を通じて活用できる図書館を目指す。

## 9.図書館ボランティアとの協働

- 充実したサービスを提供するため、図書館ボランティアと協働した事業を実施。
- 図書館ボランティアが、自分の得意分野で図書館に参加し関心を持つような場を提供。また図書館ボランティアの育成に努める。
- 図書館ボランティアはその活動自体が生涯学習の機会でもあり、図書館を拠点とした参加・活動・交流ができるよう努める。
- 子どもたちや若い世代のアイデアを生かした企画運営を行うため、ボランティアの育成に努める。

新花巻図書館サービスの基本に基づき、利用対象者別サービスは以下のとおりである。

## 1.乳幼児・児童へのサービス

乳幼児期、児童期の読書体験がその後の心の発達に大きな意味を持つ。子どもたちを本の世界に誘い、知識の入り口に案内することは、図書館の重要な役割のひとつであり、また、花巻市の将来を担う人材を育てることは図書館の重要な役割である。

- 児童用資料は、長く読み継がれている評価の高い作品を中心に収集するとともに、資料の点検を密にして、複本購入や利用頻度の高い資料の買い替えを行い、満足の得られるサービスを目指す。
- おはなしや絵本などの魅力と楽しさを伝えられることを目的とした「おはなし会」を定期的に開催する。また、保育所、幼稚園、学校などへ出向き「おはなし会」や「ブックトーク」を行う。
- 子どもたちと親のためのブックリストを作成・配布し、子どもたちと本との出会いを支援する。
- 学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行う。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援する。
- 保健センターなどの関係所館と連携し、乳幼児期の読書の重要性をアピールするとともに図書館利用の促進を図る。
- 経験を積んだ児童サービス専門の司書を配置し、徹底した児童サービスに努める。

新花巻図書館サービスの基本に基づき、利用対象者別サービスは以下のとおりである。

## 2. ティーンズ

幼児期から小学校低学年の時期に頻繁に図書館を利用していた子どもたちが、小学校高学年になると足が遠のく傾向がある。10代の子供たちの人格形成において、豊かな読書経験は大切と考えられ、生涯にわたり図書館を利用する基礎作りの時期でもあるため充実したサービスを行う。

10代の子どもたちへのサービスは、本を読む、勉強する、音楽や映像に親しむ、友達づき合いやおしゃべりを楽しむというような生活パターンを考え、その多様さと世代の感覚に合わせたサービスを行う。

なお、新図書館におけるティーンズコーナーは、10代の子どもたちを含めて多くの市民が同じフロアで利用できるサービスを基本と考え配置する。

- 中学生、高校生をはじめとする10代の子どもたちの感覚を考慮した資料や情報を提供します。特に雑誌とインターネットによる情報提供に力を入れる。この場合も印刷メディアと電子メディアを相互補完的に用いるサービスを行う。
- 高校生や専門学生、大学生などの職業選択や進学に役立つ資料、情報提供に力を入れる。この場合も印刷メディアと電子メディアを相互補完的に用いるサービスを行う。
- CD、DVDなどのメディアを10代の子どもたちの感覚に合った音楽資料と映像資料の提供に力を入れる。音楽・映像資料もリクエストサービスの対象とし、10代の子どもたちの要求を重視したサービスを行う。

新花巻図書館サービスの基本に基づき、利用対象者別サービスは以下のとおりである。

## 3. 成人・社会人へのサービス

これまでの図書館は、どちらかといえば文化、教養のための資料が中心の資料構成となっていた。花巻市の図書館では成人、社会人へのサービスを行ううえで、従来の文芸書偏重を見直し、暮らしと仕事に役立つ資料収集に努める。

- 仕事に役立つ資料、情報提供に力を入れ、花巻市の産業（地場産業）に関するものや職業選択やキャリアアップのための資格取得に役立つサービスを行う。
- 図書館の資料群のなかから「速報性」「おもしろさ」「わかりやすさ」を重視した企画展示に力を入れ、図書館が身近に感じられるような内容とし、企画展示によって魅力的な空間を創り出せるよう努める。
- インターネットを活用したサービスの提供に力を入れ、利用者がインターネットを經由して、詳細な蔵書資料情報が入手でき、予約が容易にできるシステムとする。また、インターネットを經由して図書館の利用案内や広報などの閲覧に加え、図書館が作成したデータベース、レファレンス受付・回答などを利用・閲覧できる環境を整備する。

## 4. 高齢者へのサービス

これまで本に縁の薄かった人々も喜んで足を運べるような工夫を行う。高齢者をはじめ誰でも図書館へ出かけてくれば自分の座る場所があり、自分の時間をゆっくり過ごすことができる<広場>としての図書館を目指す。

- 高齢者に利用しやすい機器を備え、図書館が楽しみの場となるよう配慮する。
- 大きい活字の本や拡大読書機、大型レンズを用意する。
- 機器操作の苦手な人にも気軽に利用できる視聴覚機器、資料の貸出、返却、資料情報検索システムを導入し、操作のサポートする。
- 親しみやすい音声・映像資料を用意する。

新花巻図書館サービスの基本に基づき、利用対象者別サービスは以下のとおりである。

## 5. 障がいのある方へのサービス

図書館を利用するにあたっての障がいを取り除き、すべての市民にとって利用しやすい図書館を目指す。

- 目の不自由な人には、点字本、大活字本、録音テープを利用できるようにする。
- 対面朗読や録音テープの聞き取りができるようにする。
- 障がいを持った人達がくつろいで利用でき、スヌーズレン教育にも対応できる部屋を設置する。
- 車いすでも図書館が利用できる書架・家具のフロア配置とする。
- 病気や障がいなど、なんらかの理由で来館が困難となり図書館サービスを受けられない人に対しては、宅配等により資料を届けるサービスを検討する。

## 6. 行政機関へのサービス

花巻市の現在を的確に把握し、将来を考えるためには、行政に関する資料、情報はなくてはならないものであり、本市が抱えている課題の把握に努め、課題の解決に役立つ資料、情報の収集・提供に努める。また、行政職員などが必要とする行政関係資料等を的確かつ迅速に提供するよう努める。また、行政各課の求めに応じて行政資料の保存と提供を行う。

- 行政機関への行政に関する資料・情報提供を行います。イントラネットや紙媒体によって地方自治・行政関係のブックリスト及び関係雑誌の情報提供を行う。
- 行政機関への予約・リクエストサービスに力を入れ、定期的な資料配達を検討する。
- 行政機関からの依頼に応じた行政・地方自治に関する調査支援に力を入れ、行政課題の解決に役立つような資料・情報提供を行う。